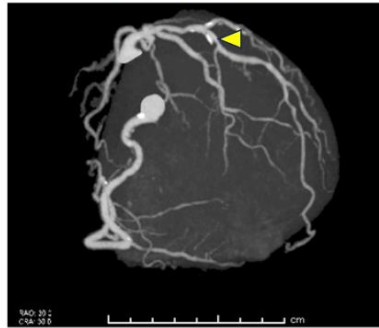
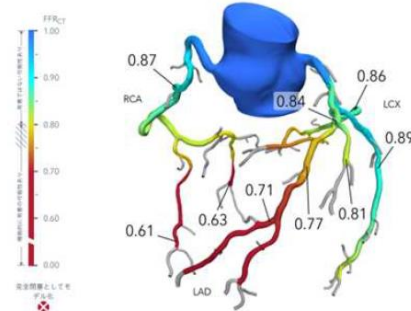


## FFR-CTを施行可能になりました！

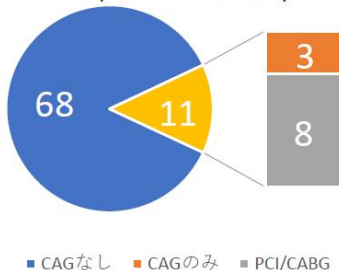
中等度狭窄では冠動脈CT画像を米国に電送し、スーパーコンピュータで解析します。FFR 0.80未満が赤色で表示され、狭心症の診断が容易になりました。



※ステント留置部は解析できません



当院での実績(2022/5-2023/7)

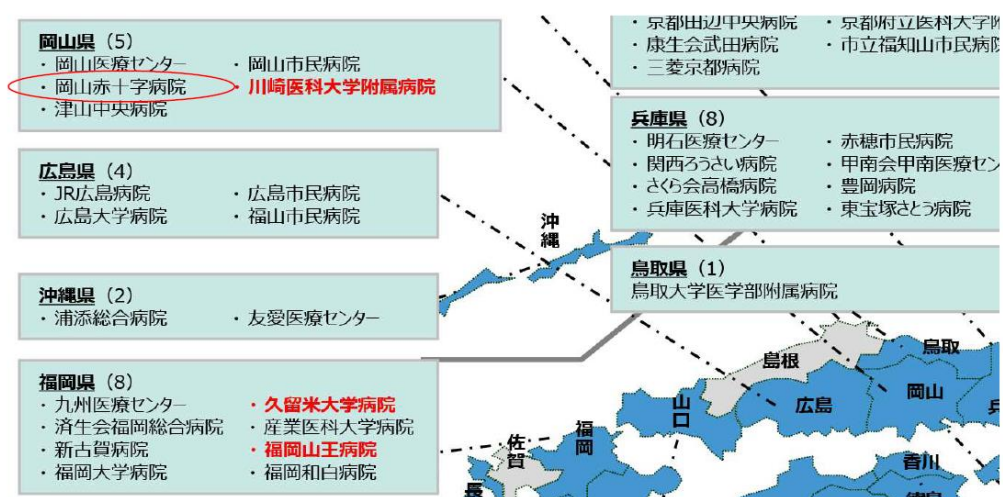


53歳男性の冠動脈CT血管造影像(左)、FFR-CT結果(右)。前下行枝近位部の石灰化を伴う中等度狭窄病変(黄矢印)によりFFR-CT値が0.77まで低下し、有意狭窄と判断できました。

79人のうち68人(86%)は、冠動脈造影を行わずに治療方針が決定しました。狭心症患者さんはもちろん、心不全患者さんにも適応がありますので、是非ご紹介ください！

## 虚血性非閉塞性冠疾患(INOCA)の診断も可能です！

冠動脈造影時に冠内圧測定、冠血流量測定を行い、冠微小循環障害の診断が可能となっています。狭心症を疑う症状がある場合は、是非ご紹介ください！



日本冠微小循環障害研究会ホームページより